

ケース学習(潰瘍性大腸炎の女性)／前分析・分析・統合

<前分析>

① 印象＝地味・控えめ・明るく・元気そう。顔つきはやや苦い、不満気な印象

② ②健康度(0～10)＝6

③ 予後(良いレメディがある時／レメディがない時)は、どうなるか？

■良いレメディがあれば＝周りからの影響を受けすぎることが減り、心身ともに激し過ぎる反応とその後に続く衰弱が減って、日常生活に余裕が出来る。時間は掛かるかもしれないが潰瘍性大腸炎は良くなって行く。冷えに対する感受性も適度にレベルに落ち着き、風邪など体調不良も減って行く。

■良いレメディがない時＝過敏さは変わらず、周りからの影響を受けすぎて、心身ともに乱れやすい日が続く、激しい反応を繰り返すうちに心身ともに疲弊して行く。潰瘍性大腸炎は次第に進行し、薬物の副作用も次第に深刻化して、やがて治癒不可能な状態になる。

④救急性(急性か慢性か～救急性があれば、そこから始める)＝慢性

⑤治癒を妨げているものは？＝薬物(止められないが)

⑥親和性(部位)＝直腸・全身・精神

⑦マヤズム傾向(Psora Syphilis Cancer TB)＝Syphilis 又は Cancer

⑧全体性(レメディはいくつ必要になるか？)＝一つ。

⑨バイタリティー＝7

<本分析>

この女性の特徴的症狀をまとめると・・・

主訴＝潰瘍性大腸炎

<身体面>

1. ガスと便が激しく出る。頻繁な下痢とガス。(潰瘍性大腸炎の一般症状か？)

2. 食べると、具合が悪くなる

3. 体調の変動が激しく、疲れきる。無気力になり、寝てしまう。(虚弱・衰弱)

4. 肛門の痒み

5. 寒さや冷房にとっても弱い

6. 風邪を引きやすい。

7. 刺激物が好き

<精神面>

1. 周りの影響を受けすぎて(震災・原発・友人の娘の自殺・弟の離婚)、それに囚われて、あれこれ考えすぎて、その後、衰弱する。

2. 激情的・情熱的。何に対しても、怒りが湧き、熱くなりすぎてしまう。(燃え上がる)

3. 激しく燃える。(バレエ指導・コーラス指導)

4. 子供のときは、暴れる子。自分の思い通りにしたい。好き放題。無鉄砲で、じゃじゃ馬。

5. 異常に怖がり。ギャンブル・パチンコ・サラ金こわい。暴力的な映画やドラマは、絶対に嫌。

怖いことは一切できない。

6. 人間が怖い。子供虐待。動物虐待。そういう心理になる人間が怖い。
7. 無神経な人は、許せない。人の気持ち読めない人・気分を害すること言う人も。
8. すごい心配性。子供が 11 時になっても帰ってこない心配で気が狂いそうになる。
9. 考え込んでしまうと、何も手につかず、横になったまま、何時間も。無気力になる。
10. バイオリンの伴奏をたまにする。音楽家。(ピアニスト)

.....

統合＝

1. 敏感過ぎて心身ともに周りの影響を受けすぎる。極端なほど激しく反応してしまう。
且つ、ひどい怖がり。
2. 激しすぎる反応故に、その後衰弱しやすい。
3. 身体は冷えやすい＋心は燃え上がりやすい＝「冷と熱」の両極を併せ持つ

～こういう特徴を持つ潰瘍性大腸炎の女性

・・・こういう全体像を持ったレメディを探す。

以上